

第56回全日本実業柔道個人選手権大会 実施要項

1. 日時 2026年9月5日(土) 8時45分開場、9時45分試合開始
2026年9月6日(日) 8時45分開場、9時45分試合開始、16時大会終了予定
2. 会場 大浜だいしんアリーナ（堺市大浜体育館）
<https://ohama-arena-budokan.com/access/>
〒590-0974 大阪府堺市堺区大浜北町5丁目7番1号 TEL.072-225-4421
3. 主催 全日本実業柔道連盟
4. 主管 西日本実業柔道連盟、大阪府柔道連盟
5. 後援 公益財団法人全日本柔道連盟
6. 参加資格 (1)「(公財)全日本柔道連盟」に登録した者であること。
(2)本連盟加盟団体（企業、チーム）に所属し、年会費を納入済であること。
(3)各階級の出場人数制限は設けない。
7. 試合種目と方法(1)種目
男子：100kg 超級、100kg 級、90kg 級、81kg 級、73kg 級、66kg 級、60kg 級、22 歳未満級
女子：78kg 超級、78kg 級、70kg 級、63kg 級、57kg 級、52kg 級、48kg 級
※複数階級への出場は認めない
(2)22 歳未満級に出場する選手は、2004 年 4 月 2 日以降に生まれた者とする。
(3)トーナメント戦にて行う。但し、出場者が3名以下の場合はリーグ戦にて行う。
(4)リーグ戦における順位の決定については以下のとおりとする。
①勝数の多い選手を上位とする。
②勝数が同数の場合は勝数の内容により決定する。順位決定方法は、別途通知をする。
(5)組合せ決定後の選手変更は一切認めない。
(6)柔道衣について
①2022 年 1 月から国際柔道連盟が改正した柔道衣コントロールで実施する。
②全柔連柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。
（全柔連ホームページを参照）
③柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。（主催者は予備の柔道衣を準備しない）
④競技中、規格外の柔道衣着用が判明した場合は失格とする。
(7)全柔連指定のゼッケン(苗字・チーム名)タテ 25～30cm×ヨコ 30～35cm を柔道衣に縫い付けること。(ゼッケンが無い場合は出場できない)
8. 審判規定 (1)国際柔道連盟試合審判規定（2025－2028）で行う。
(2)試合時間は4分間。
(3)優勢勝ちの判定基準は、「有効」以上とする。
①規定時間内で技のスコアに差が無い場合は「指導」の有無にかかわらず、時間無制限のゴールデンスコアに突入する。
②ゴールデンスコア中に技のスコアを得た時点で勝敗決着となる。また「指導」差では決着せず、3回目の「指導」、「反則負け」で試合終了となる。
9. 参加申込 全日本実業柔道連盟ホームページ（<https://jitsujuuren.jp/individual/index.html>）より申し込みをすること。
(1)締め切り：2026年7月7日(火) 17時必着
(2)問合せ先：全実柔連事務局 E-mail: zenjitsu@jitsujuuren.jp / TEL:03-6699-3040

10. 参加料 1名につき10,000円
振込先：三井住友銀行 本店営業部 普通 9071838
全日本実業柔道個人選手権大会事務局
※振込みが確認できない場合は、出場不可（会員名で振込のこと）
※組合せ抽選後の返金不可（やむを得ない理由による大会延期または中止の場合も同様の取扱いとする）
11. 組合せ抽選 2026年7月18日(土)を予定
※主催者立会いのもと「大会組合せの抽選とシード基準」に則り厳正に行う。
※結果は全実柔連ホームページに掲載。
12. 計量 試合前日の午後からアリーナ内指定場所で行う。（詳細は後日通知）
※22歳未満級は計量を行わない。
※大会当日朝のランダム計量を行わない。
13. 試合日程 第1日目（9月5日）
・女子 全階級
・男子 90kg級、100kg級、100kg超級、22歳未満級
第2日目（9月6日）
・男子 60kg級、66kg級、73kg級、81kg級
14. 表彰 (1)優勝者に優勝杯、賞状及び副賞授与
(2)準優勝に準優勝杯、賞状及び副賞授与
(3)3位(各階級2名)に賞状及び副賞授与
※出場7名以下の階級は表彰を行わない。
15. 代表者会議 2026年9月4日(金)16時15分～17時00分、アリーナ内にて行う。
各チームとも必ず参加すること。
16. 審判員 (1)審判員は全日本実業柔道連盟の委嘱による。
(2)審判員会議
9月5日(土)8時45分～、9月6日(日)9時00分～
17. 練習会場 9月4日(金)14時00分～17時00分(アリーナ2階武道場)
18. 開閉会式 (1)開会式は実施しない。
(2)表彰式・閉会式は実施する。
19. 講道館杯出場権 (1)男子の部：22歳未満級を除く、今大会の各階級上位8名には講道館杯全日本柔道体重別選手権大会(以下講道館杯)への出場権が付与される(年齢による制限は行わない)。上位8名の中にすでに本年度の講道館杯への出場権を獲得している者が含まれる場合でも、追加の選手選考(講道館出場資格決定戦)は実施しない。
(2)女子の部：各階級上位4名には講道館杯全日本柔道体重別選手権大会(以下講道館杯)への出場権が付与される(年齢による制限は行わない)。準決勝に進出した4名のうち、本年度の講道館杯への出場権を獲得している者(全日本柔道連盟強化選手など)が含まれる場合は、その人数分をベスト8より選考する。
(3)講道館杯資格付与は全柔連強化委員会の選考規定に基づく。本大会にて1勝もしていない選手に対しては同規定に基づき、講道館杯出場資格を与えない。この場合、出場資格付与数が予定数に達しないこともある。あくまでも本戦、資格決定戦を問わず競技による勝を収めることが条件である(ただし、試合を行って勝ち上がってきた対戦相手が試合前に棄権したことによる不戦勝ちは1勝として扱う)。なお、不戦勝のみで準決勝・決勝戦に進出し、敗退した場合は、本項本文の定めにかかわらず、当該選手に講道館杯出場資格決定戦への参加を認める。

(4) 講道館杯出場権を獲得し、以後の試合を正当なる理由なしに放棄した選手は、出場権を取り消す場合がある。

20. 宿泊・交通 宿泊・交通機関・弁当(大会当日)の斡旋を希望するチームは、直接斡旋団体へ申し込むこと。大会が中止となった場合のキャンセル料は各社・各チーム負担とする。

21. 傷害保険 主催者で加入する(試合中のみ対象/死亡、後遺障害、入院に適用)その他の保険は各社又は各人の自己責任にて対応すること。

22. 特記事項
- (1) 皮膚真菌症(トンスランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手は、迅速に医療機関において的確な治療を行なうこと。大会時に、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
 - (2) 脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。
 - ・ 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ・ 大会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは認めない。(受傷した時点で必ず専門医を受診すること)
 - ・ 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
 - ・ 上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を提出すること。
 - (3) 監督・コーチは、2026年度全柔連登録をしており、全柔連指導者資格(ABCいずれか)を有すること。全柔連指導者資格を有しない者は試合場の選手・監督席に帯同は出来ない。
 - (4) 大会で撮影された写真、映像の肖像権は主催者、主催者が認めた団体、共催者に帰属する。
 - (5) 大会はYouTubeライブ配信を予定。
 - (6) プログラム掲載する大会申し込み情報は全実柔連ホームページ、または大会にて使用の記録・進捗システムに掲載・使用される場合がある。

以上